

工業実習に関する実技 機械

1 課題

図1に示すような①ブラケット、②高ナット、③ボルトの3部品からなる組立品を製作せよ。ただし、作業は後に示す作業手順に従って行うこととし、測定した数値を所定の解答欄に記入すること。作業時間は20分とする。

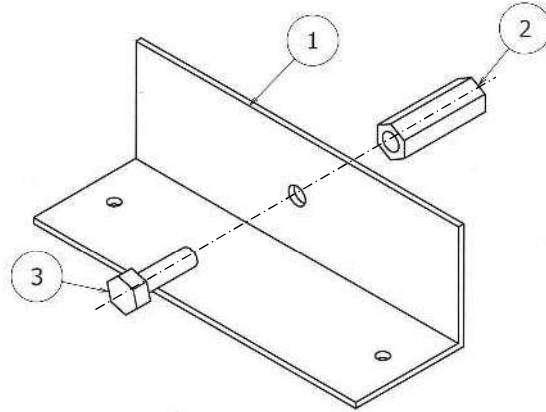


図1

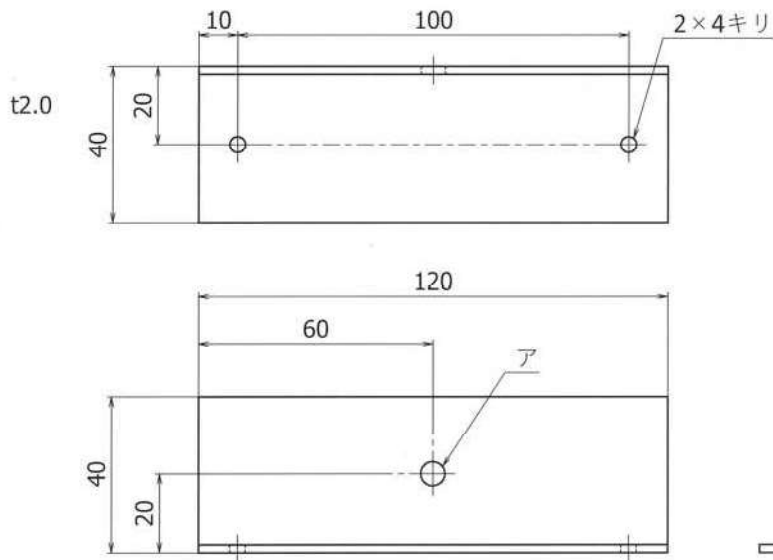


図2

2 準備されているもの

(1) 材料

アルミ板、高ナット、ボルト

(2) 工具、測定具等

ハイトゲージ、ノギス、Vブロック、ポンチ、けがき針、ドリル、万力、定盤、片手ハンマ、スパナ、工具収納ケース、マジック

3 作業手順

- (1) ①ブラケットの2×4キリの穴について、**図2**に示すとおりハイトゲージを用いてけがき線进行け。
- (2) ①ブラケットの穴あけをする箇所にポンチで印をつけよ。
- (3) ①ブラケットのア部の内径と②高ナットの全長についてノギスを使って100分の5mmまで測定し、解答用紙に記入せよ。
- (4) **図1**のように①ブラケットに②高ナットと③ボルトを手では緩まない程度に、適切なスパナを用いて組み付けよ。また、②高ナットの反対側からボルトのねじ端までの深さ（**図3**のイの部分）をノギスのデプスバーを使って100分の5mmまで測定し、解答用紙に記入せよ。

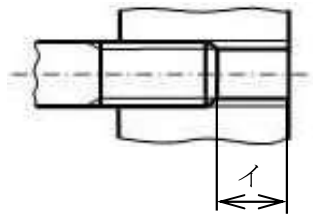


図3

(断面を示している)

4 留意点

- (1) けがき作業は、定盤の上で行うこと。
- (2) 作品に受験番号をマジックで記入し、提出すること。
- (3) 使った工具、測定具等を元の位置にもどしておくこと。

受 験 番 号

工業実習に関する実技 機械 解答用紙

①ブラケットのア部の内径

6.40 [mm]

②高ナットの全長

30.00 [mm]

図3のイの部分の深さ

17.00 [mm]